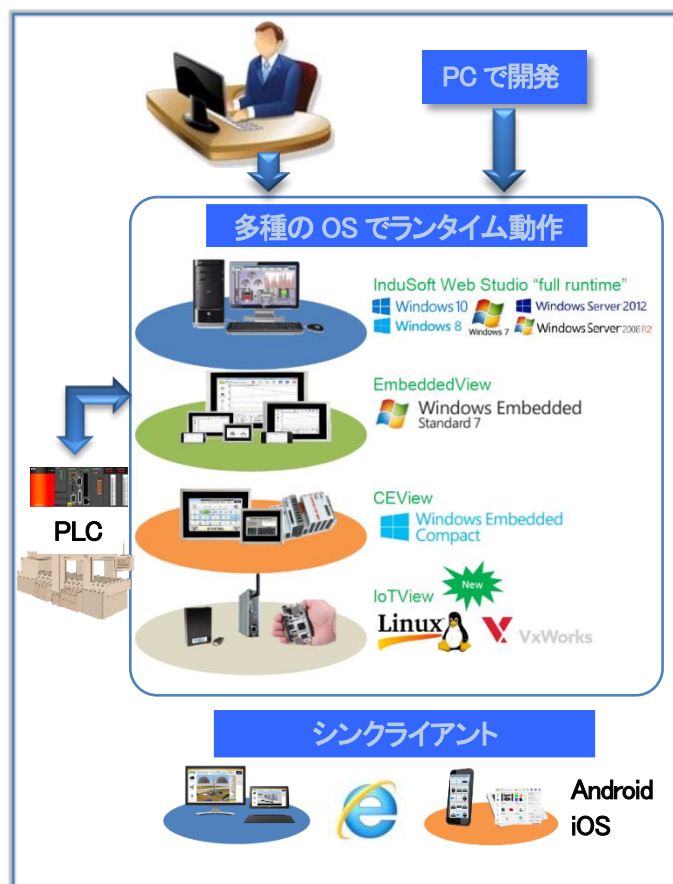


Linux への新しい提案！「Wonderware InduSoft Web Studio」

Wonderware InduSoft Web Studio (IWS) は、工場などの MES (製造管理) 向け IoT (Internet of Things) 対応
新世代 SCADA (監視制御とデータ収集) / HMI ソフトウェア！ 世界の実績 30 万超ライセンス

- 簡単に使える (easy to use) HMI / SCADA ソフトウェア
- サーバ / クライアントも可能な WEB 型 HMI / SCADA
- サーバは多くのプラットフォームからの選択が可能。
サーバ単体でも動作
Windows 7, Windows 8, Windows 10, Windows Server,
Windows Embedded Standard, Windows Embedded Compact (CE)
Linux, VxWorks_
- クライアントも3つから選択が可能
シンクライアント (IE), セキュリティ強化クライアント,
モバイル端末 (iOS, Android)
- 3つの点で大きな価値を提供
 - ① 総コストを削減 通信ドライバ付 (250 種類以上から選択)
 - ② 開発版、ランタイム版が安価
 - ③ エンジニアリングのシンプルさと豊富な機能
- 強力な機能で広がる用途
組込み、組立加工にも最適 必要な機能はフル装備
バッチ/ロット管理機能、総合設備効率機能、充実したトレンド、
XY チャート、FDA 21CFR Part 11 対応
実行中のタグ追加とアプリケーション変更の反映
- 最新の技術を採用
マルチスレッドでの動作。マルチコアをフルに生かせる。
大規模でのパフォーマンス。
HTML / HTML5 の採用。



NEW

IoTView

IoTView は、軽量でプラットフォームに依存しない InduSoft Web Studio のランタイムです。
IoTView は、タグデータベース、プロジェクトスクリーンとスクリーンオブジェクト、スクリプティング、アラーム、トレンド、通信ドライバなど、よく使用される多くのプロジェクト機能と高機能を実現可能なウィジェットをサポートしています。
但し、フルの InduSoft Web Studio が提供するすべてのテクノロジーやバックエンドツールは含まれていないため、IoTView で実行されるプロジェクトにはいくつかの制限がありますので、必ず詳細を確認下さい。
InduSoft Web Studio の今後のリリースでは、より多くの機能がサポートされる予定です。

項目	内容
動作 OS	Linux (Ubuntu, Raspbian, DEBIAN), VxWorks
動作環境 (推奨)	HDD 相当 64MB 以上、RAM メモリ 32MB 以上
グラフィックス	Mobile Access を通じてのみ表示 (HTML5)。すべてのネイティブな IWS のオブジェクトをサポート
スクリプト/関数	組み込み関数の多くはサポートされています。しかし VB スクリプトはサポートされていません。
計算	計算関数はサポートされています。
カスタムウィジェット	サポートされています。ウィジェットを活用すると DB のアクセス等の高度な機能を実現できます。
アラーム	アラームサマリーのみ。アラーム履歴は未サポート。
トレンド	リアルタイムトレンドのみ。履歴トレンドは、データを外部 DB に保存が必要。
通信ドライバ	OPC UA (Server/Client), Modbus, MQTT 等
セキュリティ	ローカルのみ
タグ数とクライアント	150, 300, 1500, 4000 タグ。シンクライアント数 MAX.8
ライセンス	ライセンスは、ソフトウェアライセンスのみ

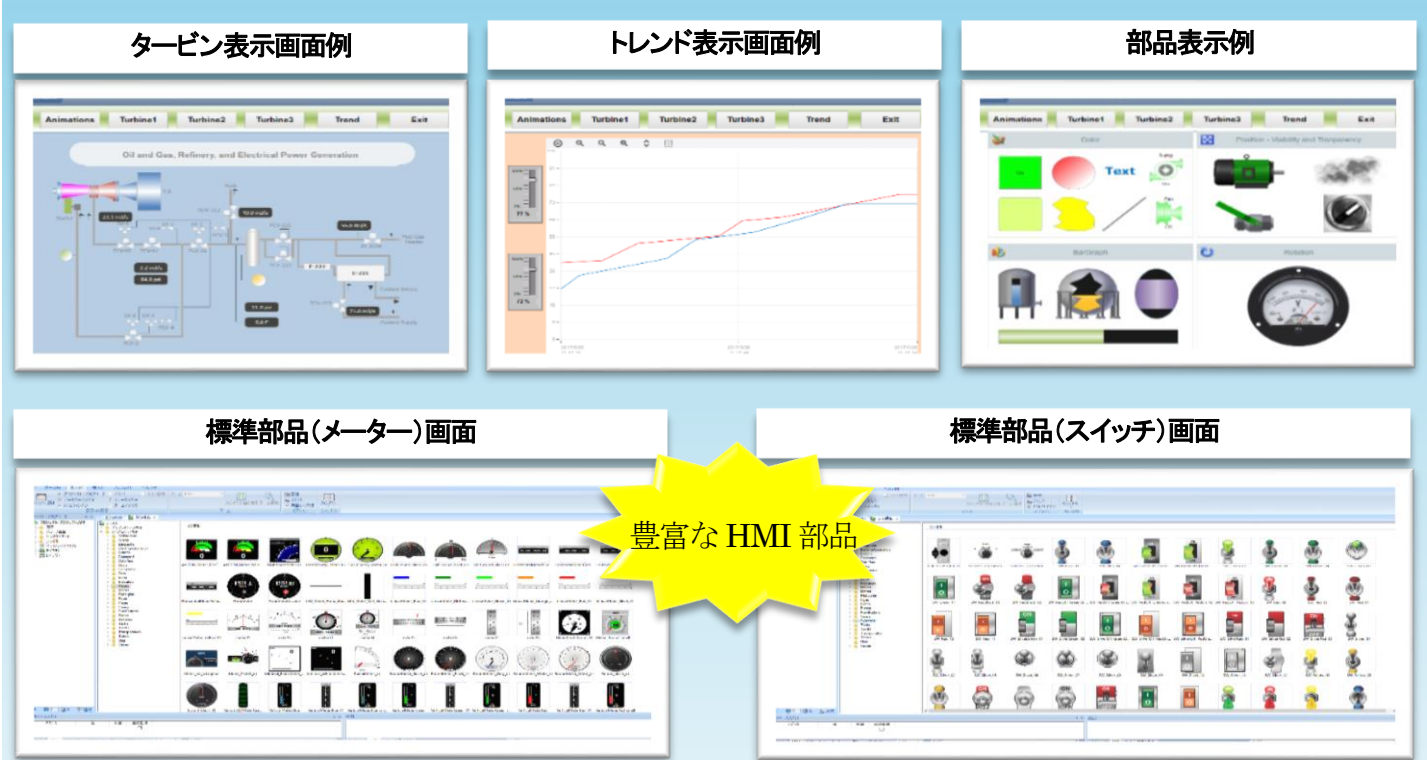


HMI/IoT 構築ソフト「Wonderware InduSoft Web Studio」 Linux 対応「IoTView」

- ・Linux / VxWorks 動作の HMI !
- ・IoT 構築に最適 !

- ① 開発手順 : PC 上で開発して、Linux / VxWorks の IoTView (ランタイム) にアプリケーションをダウンロードして実行
- ② Linux/VxWorks 上で動作する豊富な HMI 部品 (HTML5)
- ③ ウィジェットでより高度な機能の実現
- ④ IoT 構築に有効な OPC UA サーバ機能搭載 (v8.1 対応予定)

Wonderware InduSoft Web Studio (IWS) の表示画面例



IoTView (Linux 対応) の構築例

